

# 防災訓練 2022

～大地震発生時の想定と準備について～

参考資料として、「東京都の新たな被害想定」の抜粋と、管理組合が準備しているトイレ対策の資料をお配りします。共同住宅としての管理組合の活動内容のご理解と各戸内の防災学習・準備にお役立てください。

サントーア哲学堂公園管理組合  
2022年10月2日

# 東京都の新たな被害想定

～首都直下地震等による東京の被害想定～

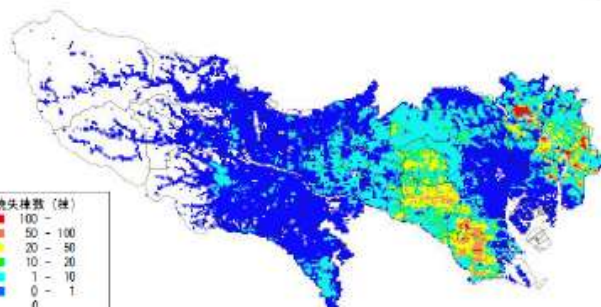
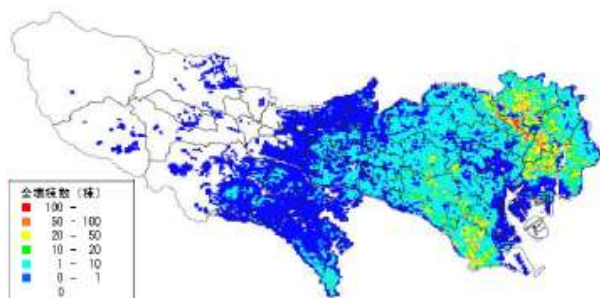
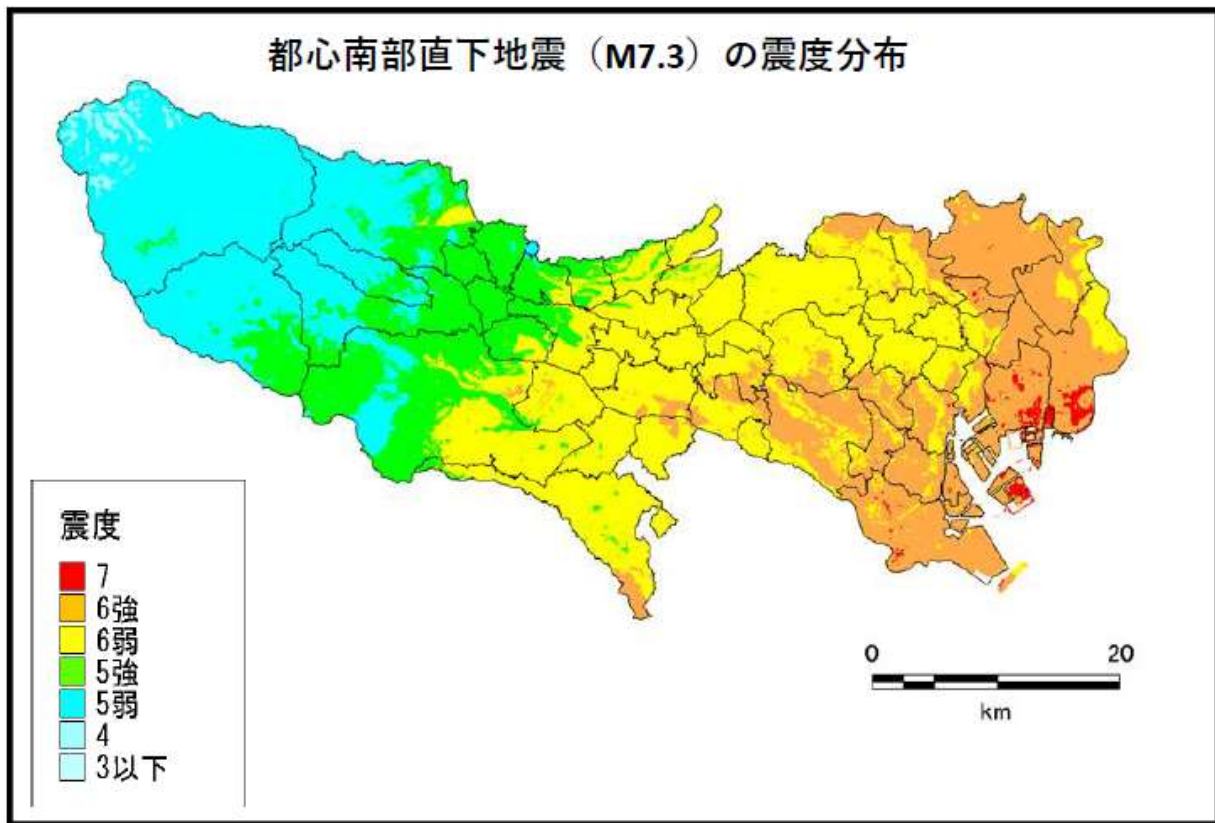
---

令和4（2022）年5月25日

東京都防災会議

# 東京における被害想定（都心南部直下地震）

- 都内で最大規模の被害が想定される地震で、震度6強以上の範囲は区部の約6割に広がる。
- 建物被害は194,431棟、死者は6,148人と想定



全壊棟数分布

焼失棟数分布

冬・夕方（風速8m/s）

物的被害	要因別	建物被害	194,431 (304,300)	棟
		揺れ等	82,199 (116,224)	棟
		火災	112,232 (188,076)	棟
人的被害	要因別	死者	6,148 (9,641)	人
		揺れ等	3,666 (5,561)	人
	火災	2,482 (4,081)	人	
	負傷者	93,435 (147,611)	人	
	要因別	揺れ等	83,489 (129,902)	人
	火災	9,947 (17,709)	人	
	避難者	約299万 (約339万)	人	

帰宅困難者

約453万  
(約517万)

人

- ※ ( )は前回想定 of 東京湾北部地震の被害量
- ※ 都心南部直下地震と東京湾北部地震では地震動が異なり、比較は困難であることに留意が必要
- ※ 小数点以下の四捨五入により合計が合わない場合がある。
- ※ 揺れ等には、液状化、急傾斜地等の被害を含む。

# 身の回りで起こり得る災害シナリオと被害の様相①

～首都直下地震が発生すると…（インフラ・ライフラインの復旧に向けた動き）～

※被害の様相は一つの想定として作成したものであり、実際の災害時に、記録した被害と別の事象が発生するものではないことにご留意が必要

想定条件 マグニチュード7.3/冬/18時/風速8m/s

発災直後～1日後  
3日後  
1週間後  
1か月後

## 被災者を取りまく様相

発災後当面の間は、ライフライン寸断等、被災生活に大きな支障

- ▼液状化地域では、住宅の傾斜など、**継続的な居住や日常生活が困難化**
- ▼長周期地震動により**固定されていない本棚等が転倒**したり、家具、ピアノ、コピー機等が大きく移動し、人に衝突
- ▼本や食器、窓ガラス等が飛散し、ストーブ等の火気器具が転倒
- ▼停電で**住宅のエレベーターが停止**

- ▼ライフライン停止等により、**空調やトイレ等が利用できない状態**が継続
- ▼品切れにより**飲食料等生活必需品の確保が困難化**

- ▼ライフラインの状況により**空調やトイレ等の一部が利用できない状態**が継続
- ▼電力が復旧しても、保守業者による点検が終了するまでは、エレベーターが使用できないため、**復旧が長期化する可能性**
- ▼過剰な購買や買占めにより**生活必需品の品薄状態が継続**
- ▼自宅の再建や修繕を望んでも、**業者や職人等の確保が困難**

## 電力

- ▼広範囲で**停電が発生**
- ▼広い地域で**計画停電が実施される可能性**

- ▼徐々に**停電が減少**

- ▼発電所の停止など、電力供給量が不足し、電力需要が抑制されない場合などは、**計画停電が継続する可能性**

- ▼建物倒壊や焼失など復旧困難エリアを除き、安全点検の終了や管路の復旧により、**多くの地域で供給が再開**

## 上水道

- ▼**断水が発生**



- ▼断水の復旧は**限定的**

- ▼断水・濁水は**段階的に解消**されるが、浄水施設等の被災による断水は**継続**

- ▼断水は概ね**解消**するが、浄水施設等が被災した場合、断水が**長期化**する可能性

## 下水道

- ▼**下水利用が制限**
- ▼排水管等の修理が終了するまで、集合住宅では、**水道供給が再開してもトイレ利用が不可**

- ▼一部地域で**下水利用が困難な状況が継続**
- ▼排水管等の修理が終了するまで、集合住宅では、**水道供給が再開してもトイレ利用が不可**



- ▼多くの地域で**利用制限解消**
- ▼排水管等の修理が終了するまで、集合住宅では、**水道供給が再開してもトイレ利用が不可**

## ガス

- ▼一般家庭で使用される**低圧ガスは、安全措置が作動し、広域的に供給が停止**
- ▼各家庭でも、**震度5弱程度以上で自動遮断**

- ▼低圧ガス管路の安全点検や復旧作業が終了せず、一部の**利用者への供給停止が継続**



- ▼安全点検の終了や管路の復旧により、建物倒壊や焼失など復旧困難エリアを除き、**多くの地域で供給が再開**

## 通信

- ▼音声通信やパケット通信の**利用に支障**
- ▼輻輳により**音声通話はつながりにくくなる**
- ▼メール、SNS等の**大幅な遅延等が発生**
- ▼携帯基地局電源の枯渇により**不通エリア拡大の可能性**
- ▼音声通信もパケット通信も**利用困難が継続**

- ▼順次、**通信が回復**
- ▼通信設備の被害状況によっては、**電話やインターネット等通信が長期間に渡り不通となる可能性**

## 鉄道

- ▼点検や被災等で、都内のJR在来線、私鉄、地下鉄が**運行停止**



- ▼新幹線も**運行停止**し、都外からの**来街者の多くが帰宅困難**

- ▼道路寸断や、交通規制、渋滞等により、**バス等の代替交通による移動も困難**

- ▼復旧完了区間から**順次運行が再開するが多くの区間で運行停止が継続**
- ▼橋脚などの**大規模被害や線路閉塞、車両脱線等が発生した場合復旧まで1か月以上の期間が必要となる可能性**

## 道路

- ▼高速道路及び主要一般道において、**交通規制が実施され、一般車両の通行が規制**
- ▼**環状七号線の内側方向への流入禁止等**の交通規制が実施
- ▼ガソリンスタンドは**当面給油不能か長蛇の列**

- ▼高速道路や主要道路で**交通規制が継続**
- ▼通行可能な道路において、鉄道等の運休継続で**車両利用が増え、慢性的な渋滞が継続**

- ▼高速道路や直轄国道等の主要路線は**段階的に交通規制解除**
- ▼その他道路では**段階的に閉塞や交通規制が継続する可能性**

- ▼土砂災害等により道路が寸断された場合、**復旧までは数か月以上を要する可能性**
- ▼羽田空港等は、徐々に**一般利用客の輸送を再開**

◆ 発災後当面の間は、ライフラインや公共交通機関など、身の回りの生活環境に大きな支障が生じるとともに、被害が甚大な場合は、その復旧が長期化するおそれ

# 大地震発生後のトイレ使用についての基本想定

サントーア哲学堂公園管理組合

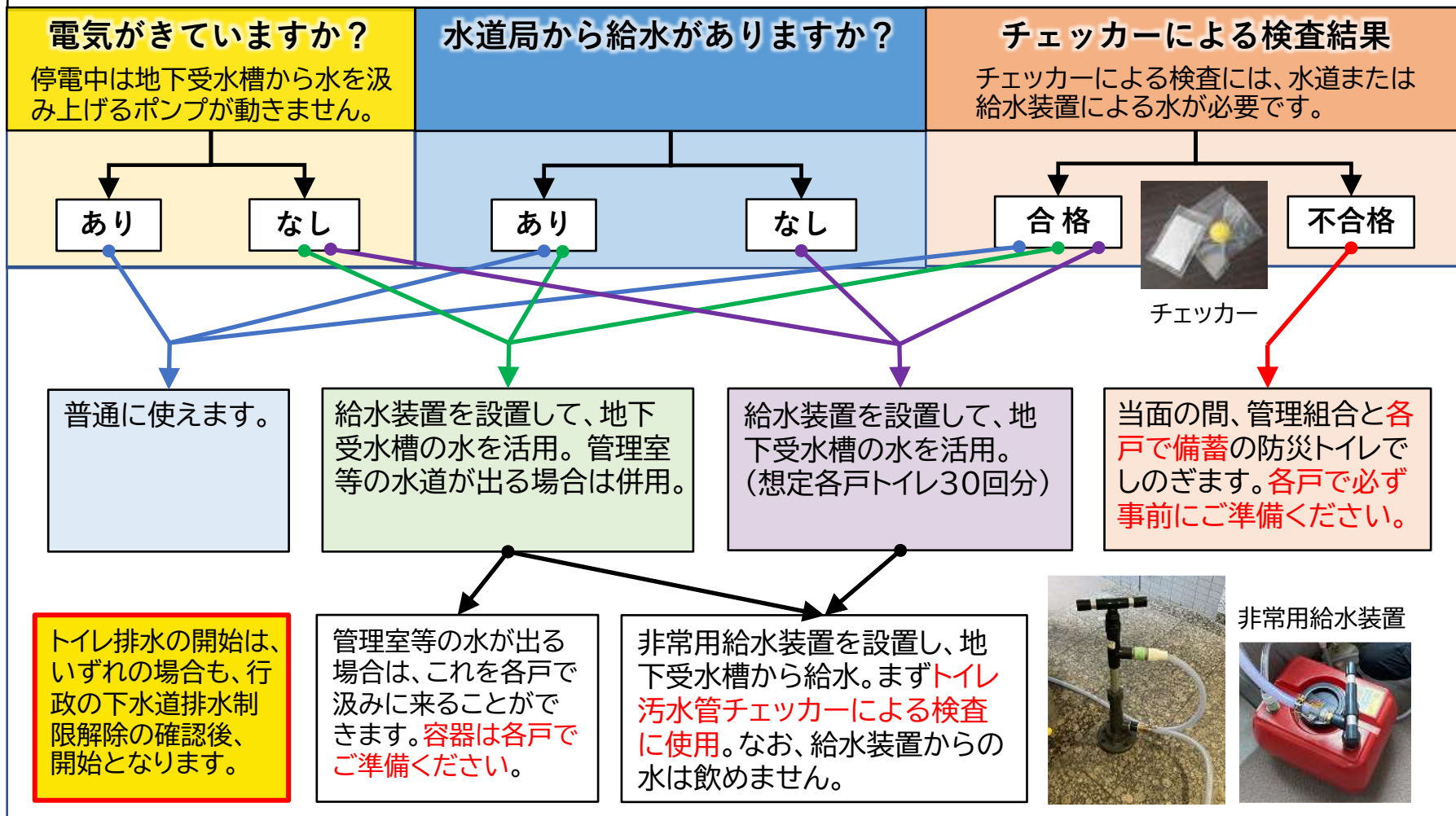
- ① 震度5強を超える大震災発生。
- ② 全戸、一旦トイレの使用を控える。 管理組合・災害対策本部からはトイレの使用禁止を通知。
- ③ 管理組合から管理組合備蓄の防災トイレ（凝固剤）を各戸に30回分配付、各戸で使用し、排水しない。
- ④ 災害対策本部・理事会で検討し、トイレ污水管チェックを計画。
- ⑤ チェックの実施には、水道が出る場合は水道水を利用、停電等で出ない場合は、非常用給水設備を設置し手動で水を汲み上げこれを使用する。
- ⑥ チェックの結果、「使用可」と判断され、行政の下水排水制限解除の確認後、トイレの使用を開始。
- ⑦ チェックの結果、「使用不可」となった箇所は当面の間トイレ使用禁止。禁止区画の居住者は、各戸で備蓄の防災トイレの使用等でしのぐ。

# 震度5強を超える大地震発生後のトイレ対応

## トイレ排水は一旦禁止・防災トイレを使用

管理組合が備蓄している防災トイレ(凝固剤)を30回分配付します。

トイレ污水管が破損している可能性があるため、チェッカーによる検査結果を待ちます。



東京都の被害想定では、下水道の利用制限解除までは「1週間～1カ月」と想定されています。

管理組合備蓄の防災トイレ（凝固剤）30回分では不足が想定されますので、各戸で必ず準備しておいてください。